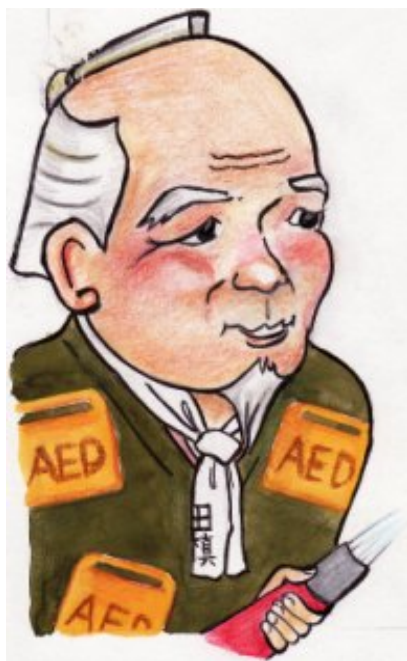


安全と安心は わたしたちの手で

「天災は忘れた頃にやってくる。」とよく言われます。それに対して、私たちは、「備えあれば、憂いなし。」と、心得ておきたいものです。

でも、本当に心しなければならぬのは、人災でしょう。健康管理しかり、火災への備えしかりです。

「まさかわしにかぎって」という心の隙間が、災いを呼び込みかねません。常に、「もしも」に備えて、我が家における対処のあり方、地域における対処のあり方について、訓練を忘れないようにしましょう。



でも、もっとも大切な心得は、人と人のつながりです。

向こう三軒両隣り、いざというときには「お互い様」です。気軽に声を掛け合いましょう。

そのためには、常日頃声を掛け合う機会を意識して作りましょう。

長田下地域自治振興会では、色んな行事を通して地域の人たちの交流の場を設けています。

ぜひとも、気軽に参加いただいて、交友を深めてください。

7/18 おかげんさん

夜の帳が下りる頃、道端にろうそくが灯り、おかげんさんの行列が幻想的な雰囲気をかもし出します。

汗びっしょりのかつぎ手も、いたるところでの応援に元気をもらいながらのゴール。最後の花火の心地よかったこと・・・



8/8 ひとは祭り

第8回のひとは祭りは、ひとはの皆さん、参加くださった沢山の皆様、お手伝いして下さった皆さんの三位一体のお祭りでした。

食べ物屋台、子どもたちが大好きな金魚すくいや風船釣り等々にぎわっていました。

ステージではフラダンスのリズムに乗った踊りに飛び入り参加もあり盛り上がりました。

また、恒例の宮崎神楽団の演舞、舞や囃子にはつつい見入ってしまいました。真夏の暑い夜、みんなで盛り上がった祭りでした。



8/14 盆踊り

明神クラブより振興会の協力依頼を受けて、自治振興会として参加しました。練習日から、ひとはの仲間も多数参加していただき、さらに当日は尼子氏・毛利氏に扮した仮装行列も加わり、例年になく賑わいでした。盆踊りに来られた方皆さんに楽しんでもらうため、「慰労会」も行われました。



10/18 運動会

秋晴れの中、下長田老人集会所で約120名の方が参加されました。手作りうどんとおむすびに舌鼓みを打った後、AEDの講習も受けて防災の意識を高めるなど賑やかで充実した一日となりました。



「下長田地区の文化財保護と伝承」について考える

わたしたちの住む長田地区の山すそや農道のほとりに、ひっそりと建っている小さなお社（小祠（しょうし）とも言う）がいくつもあることをご存じでしょうか。長くこの地で生活している皆さんには、「うんうん、わかった。あれだな。」と、うなずかれたことでしょうか。若い方や最近移り住んできた方には、そんなものがあるのかと不思議に思われるかもしれません。

わたしたちの先祖が暮らした時代には、科学技術も医学も十分発達しておらず、水害や疫病、火災などの防災対策にも、心を痛めたことでしょうか。災害や疫病などから自分の身を守るため、神仏におすがりし、祈りながら暮らしたことと思います。そうした名残りが、この小さなお社ではないでしょうか。

現在、長田全区で12カ所、向原町全体で60カ所もお社が現存しているそうです。そこで今号は、その小さなお社を訪ねてみることにしました。

薬師堂



6区(徳丸)迫宅裏

火の宮(茶臼山愛宕神社)



5区(長谷尻)内藤宅付近

火の宮社



6区(流河原)迫岡宅裏山中腹

稲荷社



7区下(宮ヶ谷)西岡宅付近

観音堂



7区上(向田淵)田口宅付近

ひしね神さん



7区下(松尾)谷川宅裏山